

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第5回武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画策定懇談会
開 催 日 時	平成28年10月21日（金）午後1時15分～午後3時
開 催 場 所	市民会館（さくらホール）会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：堀口委員、成田委員、指田委員、清水委員、鈴木委員、高橋委員、波多野委員、渡辺委員 欠席者：下田委員、白土委員、福田委員、栗岩委員 事務局：健康推進課長、健康推進G主査、栄養・歯科G主査、栄養・歯科G主任、予防G主任、委託業者1名
議 題	1 武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画（案）について 2 その他
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	議題1について： ・最終目標は「健康寿命の延伸・心身の健康の増進」で了承された。 ・基本理念は「楽しく食べて 生き生き過ごす 地域と人が織りなす 健康なまち」を策定委員会に案として出す。 ・目標値はすべて実効性のある数値にするのではなく、市民に意識を高くもってほしい項目については、現行計画と同様の数値とする。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。）	1 報告 (1) 第4回武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画策定懇談会会議結果について （事務局）資料1「第4回武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画策定懇談会会議録」について説明 事前に委員に会議録を送り確認をお願いしたところ、特に修正等の連絡はないことから、本会議録をもって決定したい。 2 その他 （事務局）その他について事務局からは特になし。 3 議題 (1) 武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画（案）について （事務局）資料2「武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画（案）」について、前回会議からの変更点を説明。 資料3「第2節 基本方針についての考え方」について説明。 （委 員）最終目標はこれでよい。基本理念の「恵まれた自然」については自然も減っているし、あまり恵まれたという感覚はない。 「郷土の自然を生かし」にしてはどうか。案4もよいので、簡単にして「郷土の自然を生かし楽しく食べて、いきいき健康むさしむらやま」がよいのではないかと。食育とはただ栄養をとるだけではなく、楽しまなくてはいけない。 （委 員）あまり長くてもよくないので、この位の長さでよいと思う。 （座 長）「元気」と「健康」のどちらの言葉を使うのか。「つくる」のか「つながる」のか。「自然」が入るか入らないか。具体的な「食べる、働く、動く」が入るか入らないかなど、どう思うか。 （委 員）前回の食育では「つながる」というキーワードだったが、自分たちが主体という意味で「つくる」がよい。「健康」か「元

	<p>気」では「元気」の方が全部を含むと思う。</p> <p>(座 長) 健康増進計画とすると「健康」という言葉の方がよいと思う。食育計画も入っているので、「食べる」など食育を表現する言葉が入っていた方がよいのか。</p> <p>(委 員) 案2と案4には「食」が入っているので、言葉を入れ変えたり、先程の「楽しく食べて健康なまち」をつなぎ直すとよいと思う。</p> <p>(委 員) 里山がまだ残っているので、破壊せずに次世代につなげるように「郷土の自然を生かし」にしたい。案2の四文字熟語「食働遊休」も捨てがたい。</p> <p>(委 員) 「市民と推進主体と市が共有し」とあるので、健康づくりに市民と市が協働しているという言葉をもっと強調した方がよいのでないか。</p> <p>(座 長) 整理すると、「恵まれた自然」ではなく「郷土の自然を生かす」という言葉、「つながる」ではなく「つくる」という言葉、「みんなで」ではなく「地域や人のつながりを育て」にする。食育計画も含まれているので「食べる」という言葉も入れたい。また、案2の「食働遊休」のようなキャッチや、案4の「食べる・楽しむ・動く」などの単語を入れる、ということではよいか。</p> <p>(委 員) 「元気なまち」というと、観光や産業の発展のようなイメージになる。食育と健康増進で考えると「楽しく健康」だと思う。</p> <p>(座 長) 「郷土の自然を生かし」は、説明文の中に書いてはどうか。案1の説明文の「狭山丘陵を背景とした豊かな緑の恵まれた自然のもとで」を「郷土の自然を生かして、食について改めて意識を高め」にすればよいのではないか。</p> <p>「食べる、楽しむ、動く」では、「動く」か「働く」なのか。</p> <p>(事務局) 「働く」より、運動や活動を楽しむ健康増進という意味も入れたい。</p> <p>(委 員) 「楽しく食べて元気に動く、いきいき健康むさしむらやま」というのはどうか。</p> <p>(委 員) 動けない人もいるのではないか。</p> <p>(座 長) 動かなくても健康な人はいるので、あえて運動や働くと言わなくてもいいのではないか。しかし食べないと生きていけないので、食べるは入れる必要がある。「楽しむ」「食べる」「健康」がよいと思う。</p> <p>(委 員) 「楽しく食べていきいき健康」はどうか。</p> <p>(座 長) 案3の説明に「地域や人のつながりを育て」とあるのでこれを使って「地域と人でつくるいきいき健康なまち むさしむらやま」、もしくは「楽しく食べて健康なまち むさしむらやま」はどうか。</p> <p>(委 員) 「地域と人」を「市民」にしてはどうか。</p> <p>(委 員) 「市民」だと自分のことと捉えにくい。</p> <p>(座 長) 武蔵村山市の計画なので、「むさしむらやま」はつけなくてもよいのではないか。</p> <p>(事務局) 地域福祉計画の基本理念は「誰もが身近な地域や家庭で安心して暮らせる福祉のまち」である。</p> <p>(座 長) 「むさしむらやま」は入れず、自然の話は説明文にきちんと入れてもらう。</p> <p>(委 員) 「つくる」を「織りなす」にして、「楽しく食べていきいき過</p>
--	---

	<p>ごす地域と人が織りなす健康なまち」はどうか。</p> <p>(委員) 「いきいき」というワードに、「生」と「活」を使えば、運動の意味も入るのではないか。</p> <p>(座長) 基本理念は「楽しく食べて 生き生き過ごす 地域と人が織りなす 健康なまち」とし、最後にもう1度会議があるので、最終的これでよいか検討する。最終目標は「健康寿命の延伸」と「心身の健康の増進」で、了承でよいか。</p> <p>(委員全員) 了承する。</p> <p>(事務局) 資料2「武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画(案)」第3章について説明。</p> <p>(座長) 23ページの現状・課題の下2行「子どもから大人へ、親から子へ～」は現状・課題ではなく、基本施策に入ると思う。28ページの現状・課題の7行目「また、身体活動・運動は～」も基本施策の①か②に入ると思う。</p> <p>この項目立ては策定委員会です承されたのか。</p> <p>(事務局) 項目は了承された。</p> <p>(座長) 3章の言い回しなどの問題点は事務局に後で連絡をしてほしい。次回の会議で変更した点は報告してもらおう。</p> <p>(事務局) 11月2日の策定委員会では、指摘があった部分を反映させたいので、修正は10月26日水曜日までに事務局に連絡してほしい。</p> <p>資料4「第二次健康増進計画・食育推進計画目標値について」の説明。</p> <p>(座長) 現行の健康増進計画においては、実行性のある数値より市民の励みとなる目標値ということで、高めに設定した。その際に国と都の目標値を参考にした。</p> <p>(事務局) この計画では、市も努力し積極的に取り組むが、高めにせず、市民も1歩ずつ取り組むという目標値の設定にした。</p> <p>(座長) 13ページに現行計画の目標値の評価があるが、高めに設定しても4項目は目標に達している。目標達成していなくても改善しているものが36あり、全体の項目数の半分以上は改善している。悪化している項目の目標値の考え方と改善している部分の目標値の考え方は必ずしも同じではないと思う。高めの数値の方がうまくいくのではないか。健康増進計画の悪化した22項はどのように考えるのか。</p> <p>(事務局) 1ページの「食育を理解する割合」は目標値が「上昇」であり、若干下がったので悪化となった。3ページの「5がん検診受診率」では、大腸・胃がん検診はやや数値が上がり改善傾向になっているが、肺・子宮・乳がんの数値が悪化したので、全体の数値は少し下がった。ただし、5がん検診はあくまで市が行っている検診の数値で、職場で受診している人もいて、必ずしも市全体で4.9%ではない</p> <p>(座長) 5がん検診は2倍にするという考え方なのか。</p> <p>(事務局) そうである。乳がん検診は報道等があり、申込みは増えているので現行通りにしている。</p> <p>(座長) 乳がん検診は世間的に注目度も上がっているので、50%の目標でよいのではないか。</p> <p>(委員) 市民としては、みんなで健康になろうという強い意志が見えるようにするには、ある程度高い数値の方がよいと思う。</p> <p>(座長) 乳がん検診の目標値は50%で、他のがん検診は2倍にするの</p>
--	--

	<p>がよい。</p> <p>(委員) 市民検診ではないところで受けているかもしれないという注記を記載しておかないと、意識が低いと誤解される。</p> <p>(座長) 45ページの目標値に、職場や人間ドックなど個人的に受診をしている人は除いていると説明を入れた方がよい。</p> <p>(事務局) 注釈を加える。</p> <p>(座長) 胃・肺がんの精密検査が90～100%であるのに比べ、大腸・子宮・乳がんは低い。市民の健康のために精密検査は行ってもらわないといけないので、目標値は100%でよいと思う。</p> <p>(委員) 1ページの「特産物・郷土料理を知っている割合」だが、学校給食に小松菜を入れたり、うどん市があったり、教育委員会の冊子も配られたので、小中学生はもっと知っていると思う。</p> <p>(座長) 「郷土を生かして」ならば、6割ではなく、国の計画に合わせて80%にした方がよい。教育委員会に対し「目標80%にしたので、一緒に頑張ろう」と言った方がよいのではないか。</p> <p>(事務局) 今回の調査対象は、小学4年生と中学1年生である。小学4年生で郷土料理を学習し、5年生で水田学習などを行う。5年前の調査対象は小学6年生であり、数値に違いが出る。</p> <p>(委員) 一般的にも特産物は「小松菜」と分かると思う。</p> <p>(事務局) 給食予定献立表も市の食材が入っていると、太字で小学生にも分かるようにひらがなで書いている。小学1年生以上にも分かるように考えている。</p> <p>(座長) 親子で頑張ると記載しているのだから、80%が目標値でよいと思う。2ページの「定期健診を毎年受けている割合」の目標値は80%でよいのか。</p> <p>(委員) 目標値を下げると、推進していた事業が後退するイメージがあり、注ぐ力を弱めるように受け取れる。</p> <p>(事務局) 年1回定期健診を受けている割合は、平成24年に74.2%だったものが、27年度は少し下がり71%になった。</p> <p>(委員) 市民意識を上げる数値設定にしないといけないと思うので、もう少し数値をあげた方がよい。</p> <p>(事務局) 現行計画と同じ95%とする方向で考える。</p> <p>(座長) 市民の皆さんに健診に行ってもらいたいという市の気持ちを込めて、現行計画と同じ数値にしたい。</p> <p>(委員) 「ハグはぐ・むらやま」は、母子健康手帳の交付だけでこの人数がカウントされているのか。</p> <p>(事務局) 母子健康手帳の交付もカウントし、相談に来る人も含む。親子2人で来ると2カウントになる。気軽に相談できる場所としての意味合いもあるので、電話相談もカウントに入れている。</p> <p>(委員) 相談業務をイメージしていたので、母子健康手帳を取りにきた人もカウントに入るのはよくないと思う。</p> <p>(事務局) 母子健康手帳の交付時にも、専門職である保健師や看護師が必ず30分程面接をして相談に乗っている。</p> <p>(座長) それはきちんとどこかに書いた方がよい。人数を目標値にすると、支援が必要な人が多いと受け止められる恐れがある。もし100人来ても全員が健全な状態ならば0人なので、人数でよいのか。</p> <p>(事務局) 御指摘の通り、利用者を増やすことが市の目指すことではない。一番大事なのは、「子どもの健やかな成長を見守り育む地</p>
--	--

	<p>域づくり」であり、出発点である「母子健康手帳交付時に専門職による面接」が5年後も引き続き100%行われることを維持するという目標にする。</p> <p>(委員) 1ページの「朝食欠食率」で、20代、30代の親元を離れ世帯を持つ年代で朝食摂取率が上がっていないことは課題である。この5年間もうまく進まなかったイメージだが、目標値の設定が下がるとますます悪くなるのではないか。朝食摂取率を上げることで、妊婦の健康状態にもつながっていくと思う。基本的なことを若い人に知ってもらう必要があると思う。</p> <p>(座長) 諦めたような数字になっているので、前と変わらない数値でいきたい。</p> <p>2ページの「安心子育て予防接種ナビ」の利用者の2,000人は、33年度に2,000人というイメージなので、5年間と書くか、年400件としておこなうてはいけない。</p> <p>(事務局) 資料2「武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画(案)」第4章について説明。</p> <p>(委員) 「今後の推進に向けて協議いただく組織づくり」は、今までの健康づくり推進協議会と食育ネットワーク協議会ではなく、別の組織ということか。</p> <p>(事務局) 今までは2つそれぞれ計画があったので2つの機関でよかったが、1つの計画になったので、今ある健康づくり推進協議会と食育ネットワーク協議会を合わせた形の協議会を作り上げていきたい。この5年間に検討して実行していきたい。</p> <p>(委員) この5年間は2つの協議会で検討評価していくのか。</p> <p>(事務局) 食育ネットワーク協議会は委嘱を2年間ということでもう始めている。委嘱終了時期をそろえて出発点を合わせるので、この1、2年を準備期間とし合体する。もう少し分かりやすい表現を検討する。</p> <p>(2) その他</p> <p>(事務局) 次回の会議は、11月9日水曜日に1時15分から予定している。場所は、市役所3階の301会議室で開催予定である。</p>
--	---

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>公開 <input type="checkbox"/>一部公開 <input type="checkbox"/>非公開 ※一部公開又は非公開とした理由</p> <p style="text-align: right;">傍聴者： _____ 0人</p> <p style="font-size: 2em;">()</p>
--------------------	---

<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>開示 <input type="checkbox"/>一部開示 (根拠法令等： _____) <input type="checkbox"/>非開示 (根拠法令等： _____)</p>
---------------------	---

<p>庶務担当課</p>	<p>健康福祉部 健康推進課 (042-564-5421)</p>
--------------	-----------------------------------

(日本工業規格A列4番)